

平成28年熊本地震支援活動報告会Vol.3

「今求められる支援の在り方」

～仮の住まいから生活再建に向けて～

熊本地震は、今春で発災から1年を迎えます。被災された住民の方がたの多くは今も、応急仮設住宅やアパートなどのみなし仮設住宅での暮らしが続いています。生活再建への過程は始まったばかりです。

この状況に対して被災市町村では、地域支え合いセンターと呼ばれる支援体制が作られ、新しい暮らしの中での孤立防止やコミュニティづくりを目的とした活動が行われています。

状況が刻々と変化する中で、多様なニーズに対して何ができるのか。現在も続く支援活動を支えるために何ができるのか。今回の報告会では、熊本の現状を踏まえ、企業・大学・社会福祉協議会・NPOなどの支援関係者から情報共有いただき、皆さまと意見交換する機会にしたいと考えております。

日時・会場

平成29年3月13日(月)

18:00～20:00(開場17:30)

TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター・ホール4E

中央区京橋1-7-1戸田ビルディング

<アクセス>

東京駅八重洲中央口から徒歩5分

東京メトロ銀座線 京橋駅 7番出口 徒歩2分

東京メトロ東西線 日本橋(東京都)駅 徒歩5分

プログラム

■ 基調報告 「被災地を俯瞰した現状と課題」

熊本県立大学准教授 柴田 祐 氏

■ パネルディスカッション

「現状の課題と今後の支援について」

※パネリストなどの詳細は裏面を参照

主催



災害ボランティア活動
支援プロジェクト会議

JVOAD

特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

プログラム詳細

当日スケジュール(予定)

18:00 開会

18:05 基調報告

「被災地を俯瞰した現状と課題」

熊本県立大学

環境共生学部居住環境学科 准教授

柴田 祐 氏

18:45 パネルディスカッション

「現状の課題と今後の支援について」

<概要>

発災から11か月が経過し、みなしを含めた仮設住宅への支援が行われていますが、ひとりひとりの課題やその先にいる住民の様子は次第にみえづらくなっています。

パネルディスカッションでは、熊本地震の支援に関わるさまざまな立場の視点から、現状の課題を立体的に理解し、今後必要とされる支援について考えられる機会といたします。

19:45 質疑応答

20:00 閉会

パネルディスカッション登壇者

南阿蘇村社会福祉協議会

事務局長 里 浩士 氏

事務局次長 工藤富美代 氏

熊本日日新聞社

編集局編集委員

小多 崇 氏

特定非営利活動法人 NPOくまもと 理事 /

くまもと災害ボランティア団体ネットワーク

共同代表

樋口 務 氏

味の素株式会社

CSR部

大和田 梨奈 氏

熊本県立大学

環境共生学部居住環境学科 准教授

柴田 祐 氏

<コーディネーター>

特定非営利活動法人

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

代表理事

栗田 暢之

主催団体



災害ボランティア活動
支援プロジェクト会議



特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等により構成されるネットワーク組織。平常時は、災害支援に関わる調査・研究、人材育成や啓発活動、災害時は多様な機関・組織、関係者などが協働・協力して被災者支援活動を実施。

災害時の被災者支援の地域、分野、セクターを超えた関係者同士の連携の促進および支援環境の整備を目指し、官と民、民間団体同士の連携を作り出し、情報の集約と広域でのコーディネートをするための仕組みづくり等を実施。

申込方法

「お名前」「ご所属先」「E-mailアドレス」「電話番号」「ご住所」をご記入の上、担当(成田、小竹)宛にメールにて、お申し込みください。

お申込み先: info@jvoad.jp

<問い合わせ>

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局(担当:成田、小竹(しの))

TEL 080-5961-9213